

会員各位

2024/07/22

第1回国際学術交流（台湾）旅行団参加第2次案内

国際学術専門委員会

昨年度は全国大学書道学会創立65周年を記念して、台湾研修旅行を実施しました。その折に台湾側より学術交流を行いたいとの熱心なご提案を受け、本学会でも常任理事会で協議した結果、この提案に賛同し、国際学術交流専門委員会（特別委員会）を立ち上げました。

目下、2025年3月末に、台北において、全国大学書道学会、国立台湾芸術大学を主催者とし、中華民国篆刻学会、中華民国書道教育協会の共催とする国際学術交流を開催し、さらに昨年度の台湾研修旅行では訪問できなかった場所を中心に、研修も兼ねる企画を計画しました。

その概略を説明しますと、3月27日（木）、羽田空港から空路松山（台北）空港へ入り、何創時書法芸術基金会で明清書画の特別閲覧を実施し、近くにある書道用品店の蕙風堂でショッピングを楽しみます。

28日（金）は午前国立故宮博物院を見学し、午後に台湾芸術大学にて書法展開会式を行い、その後移動して台北駅近くで日台の研究者、書家による交流会（祝宴）を開催します。

29日（土）は台湾芸術大学において1日、書法シンポジウム（台湾の研究者、会員による研究発表8本程度）を開催します。会員発表者については国際学術交流専門委員会により今後選定します。休憩時には書法展（令和6年度 全国大学書道学会会員書作展出品作品および台湾書作家による合同書法展）を鑑賞することもできます。

30日（日）は中央研究院歴史語言研究所歴史文物陳列館を鑑賞し、免税店に立ち寄り、松山（台北）空港から羽田空港へ向かう予定です。

今回の旅行にあたっては、第1次案内で20名弱の参加希望者を募ることができました。会員のみなさまのご協力に感謝申し上げます。申し込みがまだ済んでいない会員のみなさまには、まだ余裕がございますので、日程を調整され、ご参加くださいますようお願い申し上げます。なお、研修旅行については、学会ホームページ上でも情報を随時公開しますので、適宜御覧おき下さい。みなさまのご参加をお待ちしております。

なお、ご承知の通り、今般は、旅行団の途中参加・途中離団、また、旅行団に参加しない形での現地集合・現地解散もお認めしておりますので、ご勘案いただければと存じます。この点、お問い合わせフォームにその旨お知らせ下さい。

ただし、その場合、国際学術交流にかかるすべてのプログラム（シンポジウム及び前日の交流会（祝宴、参加費NTD\$1000）に必ず参加頂くことを条件とします。そのほかに、シンポジウム昼食代、台北市内の交通費、研修先の参観料（国立故宮博物院・NTD\$350/1人）等は各自手配のうえご負担頂きます。なお、各自手配の場合は、手配に関するご相談は承りかねます。また、旅程上で発生したトラブルについては本学会では責任を負いかねますので、何卒御了承頂きますようお願い申し上げます。

日程 令和7年3月27日(木)～3月30日(日)3泊4日

旅程(今後変更になることもあります)

- 3月27日 羽田空港発(午前)、松山(台北)空港着。何創時書法芸術基金会にて特別閲覧。
蕙風堂でお買い物。
- 3月28日 午前、国立故宮博物院見学。午後、台湾芸術大学にて書法展開幕式、その後交流会(祝宴)。
- 3月29日 台湾芸術大学にて1日シンポジウム、書法展鑑賞。
- 3月30日 午前、中央研究院歴史語言研究所歴史文物陳列館見学。午後、免税店を経て松山(台北)空港発、羽田空港着、解散。

費用 185,850円

※燃料サーチャージの高下により、今後多少の費用の変更が見込まれます。

※1人部屋の場合は、費用(8000円×3泊分)が加算されます。

参加申込

今回の旅行は会員限定です。下記フォームより、令和6年9月26日(木)までに申し込みをお願いします。第1次案内の際に申し込まれた方は、今回の申し込みは不要です。

【第1回国際学術交流(台湾)旅団参加登録用 google フォーム】

<https://forms.gle/DQTjkBupfxyzgPxUA>



※フォームでのお申し込みが難しい場合、下記のお問い合わせ先にメールか、葉書で参加の旨をお知らせ下さい。折り返しご連絡します。

お問い合わせ先

全国大学書道学会 国際学術交流専門委員会 申込窓口(佐々木・関)

・メール宛先：2024taipei.allshodo@gmail.com

・葉書宛先：〒102-8336 東京都千代田区三番町6-16

二松学舎大学 全国大学書道学会 国際学術交流専門委員会 関俊史 宛